受入確認表　空欄版

案件・システム名と対象の版を記入し、操作の前に期待結果を決めます。結果は実施後に記入します。

案件・システム名	
確認ID／確認する業務	
対象の版・環境／前提	
操作	
期待結果	
実際の結果	
証拠	
項目の判定／確認者／確認日	
対応記録ID	

不具合記録　空欄版

不具合・未実施・追加要望を区分で分け、元の確認IDを記入します。受入判断は結果を確認して記入します。

案件・システム名	
対応記録ID／確認ID／区分	
内容・影響／重大度	
対応担当／対応期限	
対応・回避手順	
再確認条件	
再確認結果／証拠	
再確認者／再確認日	
受入判断・理由	
判断者／判断日／対応状況	

受入確認表　記入見本 U01

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U01／通常の貸出
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	総務担当。備品EQ-001は空き。
操作	社員Aへ貸し出す。返却予定日は2026年9月20日。
期待結果	一覧に社員Aと返却予定日が出て、貸出記録が1件残る。
実際の結果	社員Aと返却予定日を確認。貸出記録は1件。
証拠	U01_貸出一覧／U01_貸出記録（想定名）
項目の判定	合格
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	なし

受入確認表　記入見本 U02

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U02／重複した貸出
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	総務担当。EQ-001は社員Aへ貸出中。
操作	同じ備品を社員Bへ貸し出そうとする。
期待結果	重複貸出を止め、社員Aの貸出記録だけが残る。
実際の結果	重複の案内が出て登録を停止。元の記録は1件のまま。
証拠	U02_重複案内／U02_貸出記録（想定名）
項目の判定	合格
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	なし

受入確認表　記入見本 U03

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U03／貸出の取消
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	総務担当。EQ-001は社員Aへ貸出中。
操作	貸出を取り消す。
期待結果	EQ-001が空きに戻り、誰がいつ取り消したかが残る。
実際の結果	空きへの変更と、取消の担当・日時を確認。
証拠	U03_取消後一覧／U03_取消記録（想定名）
項目の判定	合格
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	なし

受入確認表　記入見本 U04

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U04／利用者の権限
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	一般社員。ほかの部署に貸出記録がある。
操作	管理用一覧の画面を直接開く。
期待結果	他部署の貸出情報を表示しない。
実際の結果	他部署の貸出一覧が表示された。
証拠	U04_権限不具合（想定名）
項目の判定	不合格
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	D01

受入確認表　記入見本 U05

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U05／帳票との照合
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	総務担当。貸出一覧は3件。長い備品名を1件含む。
操作	貸出台帳のPDFとCSVを出し、一覧と照合する。
期待結果	件数・借りた人・返却予定日が一致し、備品名の末尾まで読める。
実際の結果	3件と各値は一致。PDFだけ長い備品名の末尾が切れる。CSVは全文を読める。
証拠	U05_一覧／U05_台帳PDF／U05_台帳CSV（想定名）
項目の判定	不合格
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	D02

受入確認表　記入見本 U06

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

確認ID／確認する業務	U06／停止後の再処理
対象の版・環境	検証用 v1.0
前提	総務担当。通知停止の状態を再現する準備が必要。
操作	通知を停止して貸出を登録し、復旧後に再処理する。
期待結果	貸出記録が1件のまま、通知が1回だけ届く。
実際の結果	未実施。通知停止を再現する準備が未完了。
証拠	未取得
項目の判定	未実施
確認者／確認日	佐藤／2026-09-13
対応記録ID	D03

不具合記録　記入見本 D01

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

対応記録ID／確認ID／区分	D01／U04／不具合
内容・影響	一般社員に他部署の貸出一覧が表示される。
重大度／対応担当／期限	重大／鈴木／2026-09-15
対応・回避手順	管理用一覧の権限を修正。回避手順による受入れはしない。
再確認条件	v1.1。一般社員の閲覧を止め、総務担当は一覧を使える。
再確認結果	両方を確認し合格。証拠名U04_再確認（想定名）。
再確認者／再確認日	佐藤／2026-09-15
受入判断・理由	D01による保留を解除。全体判断はほかの項目も確認する。
判断者／判断日／対応状況	田中／2026-09-15／再確認済み

不具合記録　記入見本 D02

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

対応記録ID／確認ID／区分	D02／U05／不具合
内容・影響	台帳PDFで長い備品名の末尾が切れる。件数・借りた人・返却予定日は一致。
重大度／対応担当／期限	軽微／鈴木／2026-09-18
対応・回避手順	CSVで全文を確認する回避手順を9月15日に確認。PDFの表示幅を修正する。
再確認条件	修正版で備品名の全文と、件数・借りた人・返却予定日の一致を確認する。
再確認結果	修正後の再確認は未実施。PDFの不具合は残存。
再確認者／再確認日	佐藤／未実施
受入判断・理由	CSVの回避手順と9月18日の修正期限を合意して条件付き受入れ。検収の扱いは別途合意する。
判断者／判断日／対応状況	田中／2026-09-15／対応中

不具合記録　記入見本 D03

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

対応記録ID／確認ID／区分	D03／U06／未実施
内容・影響	通知停止を再現する準備がなく、重要な再処理の確認が未実施。
重大度／対応担当／期限	未判定／鈴木／2026-09-15
対応・回避手順	通知停止を再現できる検証環境を準備する。初回は受入判断を保留。
再確認条件	v1.1。通知を止めて貸出登録後、復旧して再処理する。
再確認結果	貸出記録1件・通知1回を確認し合格。証拠名U06_再処理（想定名）。
再確認者／再確認日	佐藤／2026-09-15
受入判断・理由	D03による保留を解除。全体判断はほかの項目も確認する。
判断者／判断日／対応状況	田中／2026-09-15／確認済み

不具合記録　記入見本 D04

人物・日付・結果・版・証拠名はすべて架空の記入例です。実際のテストや顧客実績ではありません。証拠の実ファイルはありません。

対応記録ID／確認ID／区分	D04／U01／追加要望
内容・影響	備品のQRコードを読み取って貸出入力を省略したい。合意済み範囲には含まない。
重大度／対応担当／期限	対象外／鈴木／2026-09-18
対応・回避手順	9月18日までに追加開発の費用と納期を提示する。修正期限ではない。
再確認条件	今回の受入確認の対象外。追加発注時に確認条件を決める。
再確認結果	対象外。合格・不合格は付けない。
再確認者／再確認日	対象外／対象外
受入判断・理由	U01の合否と切り離し、追加の費用・納期を別途相談する。
判断者／判断日／対応状況	田中／2026-09-15／別途相談